

みなみまち cadocco コンセプト

「集まる」「つくる」「楽しむ」

皆様方には東日本大震災以降、物心両面にわたるご支援をいただき、誠にありがとうございます。お陰様で少しずつではありますが日常を取りもどしつつあります。ご多聞に漏れず、当地区は東日本大震災による津波で壊滅的な被害を受けました。残念ながら「自治会」「子ども会」などの土地があって初めて成り立つコミュニティは存続が難しい状態にあります。かろうじて PTA や防犯協会、消防団などテーマによって成り立つコミュニティが機能している程度です。

それでも私たちは南町で暮らすことを決意しました。浸水地域で再び暮らすことに「バカじゃないか」と思われるかもしれませんが、でも私たちは南町が好きです。この土地を愛してやみません。いくら浸水したとしても、ここがふるさとだからです。

私たちはまず家業の復興をめざして仮設商店街を発足させ、今秋オープンを目指して建築確認などの手続きを進め

- 仮設住宅への移転で友達が散り散りになった
- これまでの遊び場が避難所と仮設住宅になった
- 空き地が干潟になった

まずは子ども達が気軽に集まれる場所を確保し、遊び場としての機能だけでなく、情操教育や文化芸術に触れる拠点を目指します。

いるところでは、それと同時に、子どものコミュニティーの復活をめざして動き出しました。これまでの子ども達の遊び場は避難所や仮設住宅に変わってしまいました。また、避難生活で学区がバラバラになってしまいました。そして追い打ちをかけるように、空き地がありません。地震による地盤沈下で、干潟になってしまったのです。

そこで比較的被害の小さかった空き店舗を活用して、子どもの集会所を企画しました。子どもの遊び場としての機能だけでなく、伝統芸能の練習やワークショップなどの情操教育の拠点としての機能も持たせ、親子に愛される施設を作りたいと考えています。家庭と学校の往来だけでなく、バッファゾーンを設けることで、子ども達に希望と心のゆとりを与えたい、そんな思いで一杯です。

皆様のご協力を、心よりお願い申し上げます。

南町柏崎青年会 会長 坂本 正人